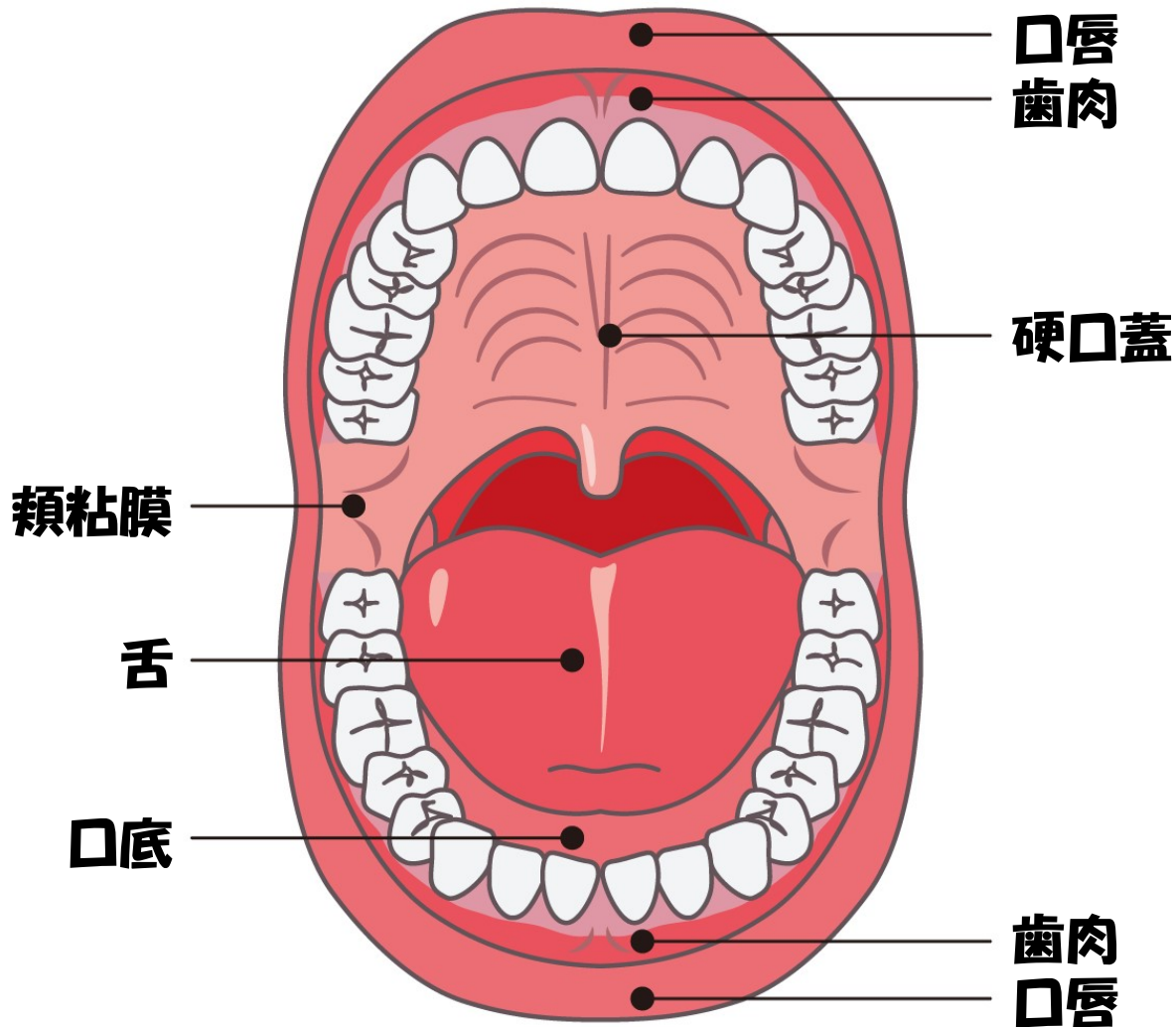


口の中の怖い病気 ～口腔がん～

口腔の構造と働き



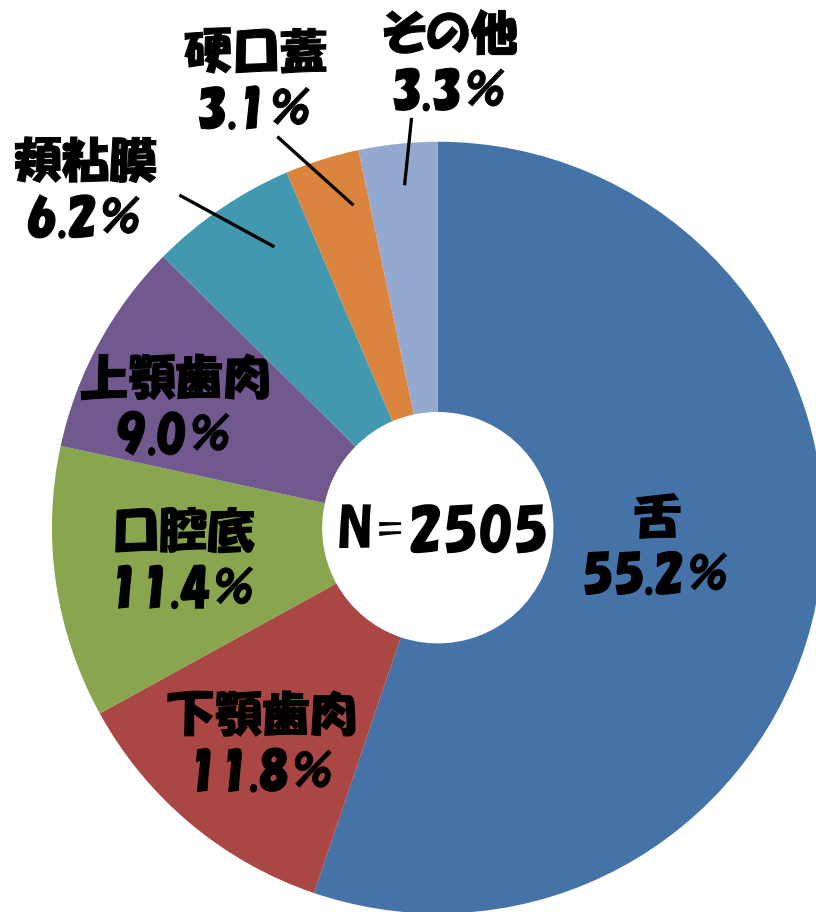
消化管の入り口で、唾液を分泌して食物を咀嚼(そしゃく)し、味わい、飲み込む機能。

口唇・舌やその周囲の筋肉の動きによって声を構音する機能。

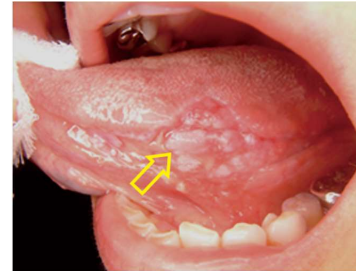
呼吸をするときの空気の通り道としての役割。

口腔がんの種類

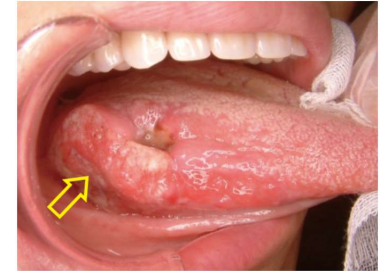
口腔がん部位別頻度



舌がん(白斑型)



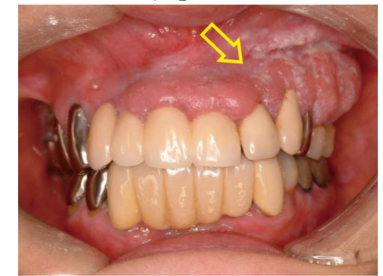
舌がん(潰瘍型)



口唇がん



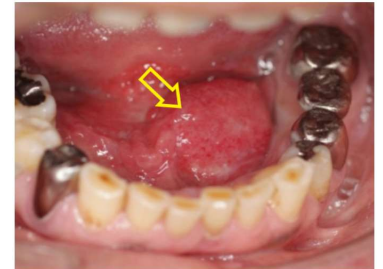
歯肉がん



硬口蓋がん

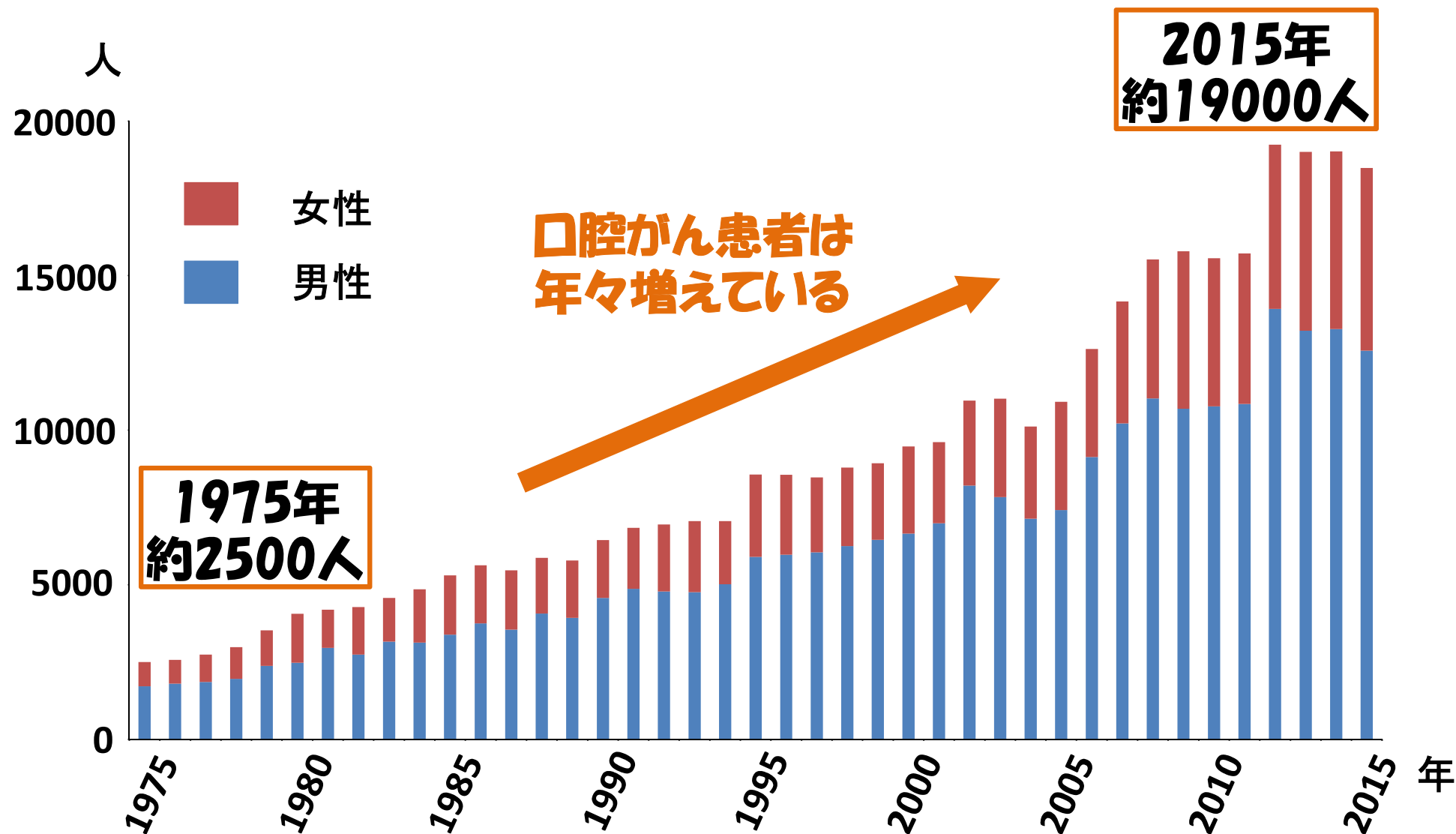


口底がん



出典：日本口腔外科学会

口腔・咽頭がんの患者数(罹患数)



出典：国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」

口腔がんの治療

「手術」が標準治療

Stage I 手術 もしくは 放射線治療

Stage II 手術 もしくは 放射線治療

Stage III 手術 ± 頸部郭清術(リンパ節郭清) ± 再建術
± 放射線治療 ± 化学療法(抗がん剤)

Stage IV 手術 ± 頸部郭清術(リンパ節郭清) + 再建術
± 放射線治療 ± 化学療法(抗がん剤)

5年生存率

90%

70~80%

50~60%

40~50%

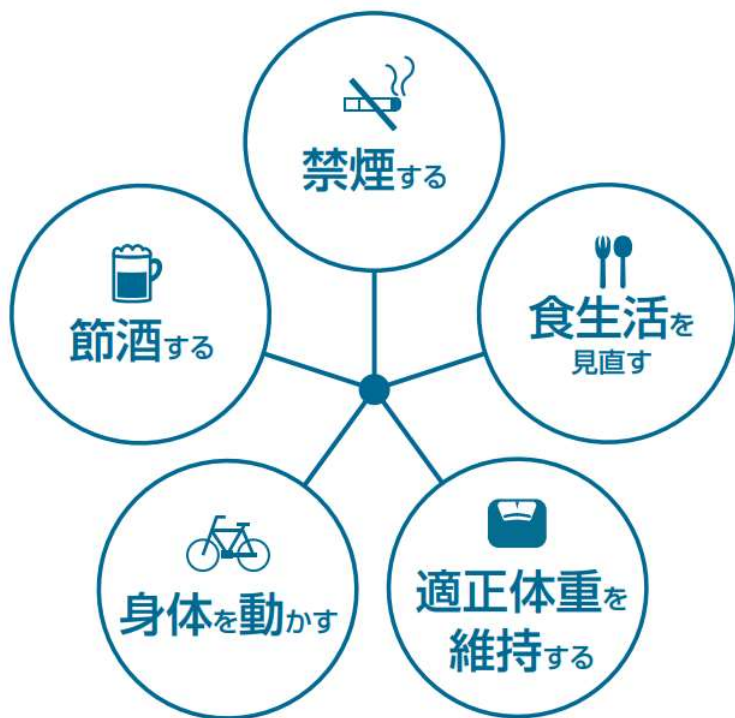
**口腔には様々な重要な機能があるため
治療が生活の質(QOL)に与える影響は大きい**

予防、早期発見・早期治療が大事

口腔がんにならないために

すべてのがんに共通

5つの健康習慣を実践することで
がんになるリスクが低くなります



口腔がんのリスクファクター

飲酒・喫煙(リスクが最大で約16倍に)

合わない入れ歯やとがった虫歯など
による慢性刺激

歯並びが悪く、よく舌や頬を噛む

口腔内が不衛生な状態

偏食(ビタミンや鉄分の不足)

改善する必要がある

かかりつけ医を持ちましょう

口腔がんの**予防（一次予防）**や**早期発見（二次予防）**には、日頃から口の中の診察に詳しい、**かかりつけ歯科医による定期的な診察**が大切です。

一次予防

むし歯や歯周病の早期の治療、入れ歯の適切な調整、口腔の衛生指導を受けることが口腔がんの予防につながります。

二次予防

口の中は直接目で見え、触れる部分です。

丁寧な診察を定期的に受けることによって、早期発見が可能です。

口腔がんを疑うポイント

①	口の中に硬いしこいがある
②	口の中に出血しやすい部分がある
③	3週間以上治らない口内炎や潰瘍がある、または抜歯後の治癒が悪い
④	口の中に痛みがある
⑤	口の中や唇にしびれがある
⑥	口の中が腫れて、入れ歯が合わなくなった
⑦	口の中に白い部分や赤い部分がある
⑧	口臭が強い
⑨	原因不明の歯の揺れがある
⑩	首のリンパ節の腫れが3週間以上続いている

セルフチェックすることで自分でも見つけることができます。